



上田市立傍陽小学校だより 令和7年2月26日

光れ！そえひの子



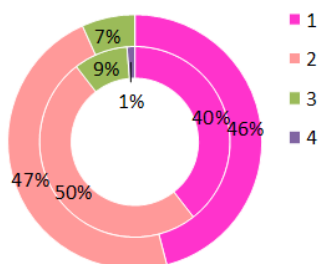
2学期学校自己評価アンケートの結果について

アンケートの結果をお伝えします。1学期のアンケート結果との比較や外部の方の評価により、成果と課題がより明確になってきました。今後の児童指導・学校運営に活かして参ります。

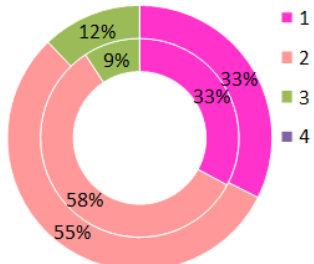
I 児童アンケート結果より

■ 1 そうだ ■ 2 まあそうだ ■ 3 あまりそうでない ■ 4 そうでない

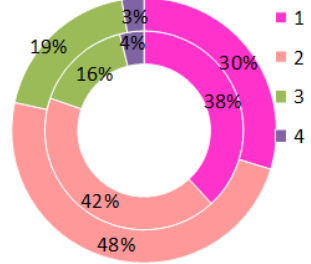
1. 自分から、気持ちの良いあいさつや返事をしていますか。



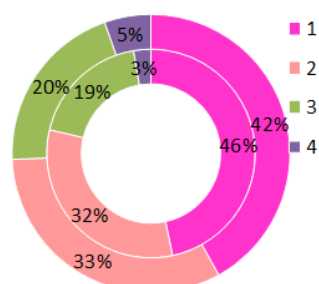
2. 友だちを 思いやり、優しい言葉をかけていますか。



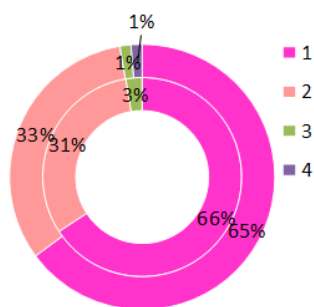
3. 自分で考えたり、思ったりしたことを友だちや先生に話をしていますか。



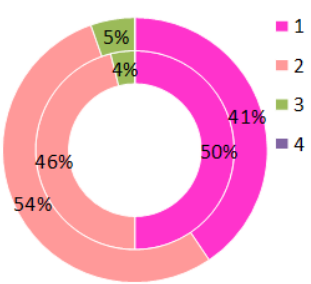
4. 地域での学習や活動を楽しみ、感じたことを伝えていますか。



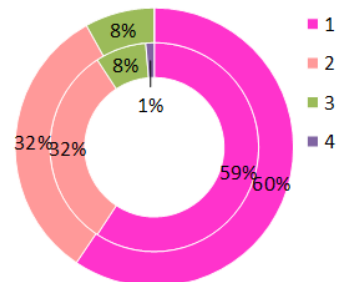
5. 授業は分かりますか。



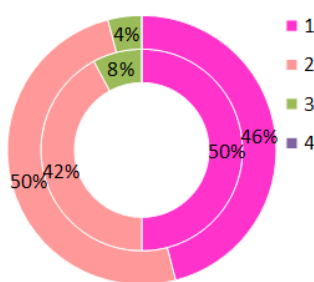
6. 授業中、先生や友だちの話を最後まで聞いていますか。



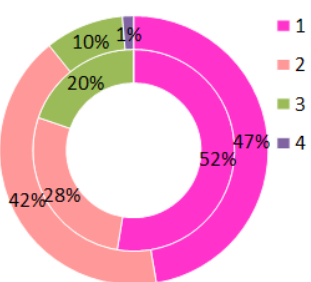
7. 他の学年の友だちと力を合わせて掃除をしたり、仲良くしたりしていますか。



8. 学校の先生たちは、話をよく聞いて、がんばっていることをほめたり、はげましたりしてくれますか。



9. 学校は 楽しいですか。



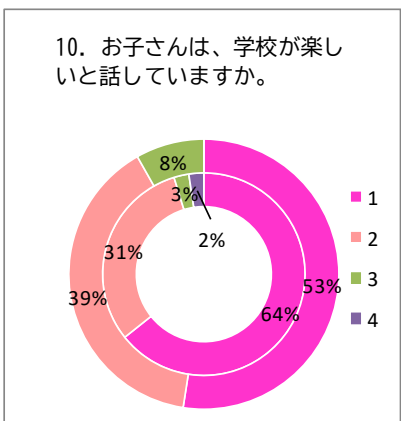
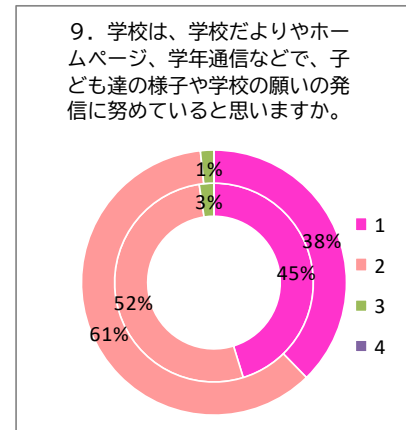
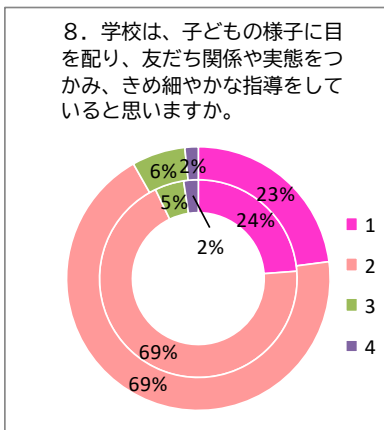
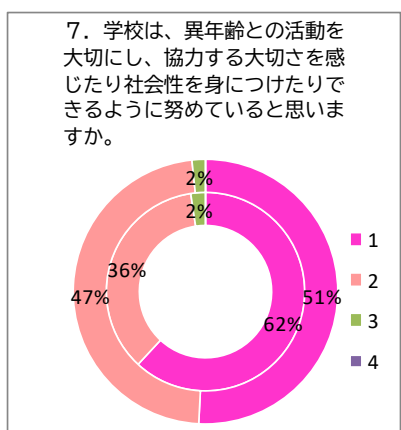
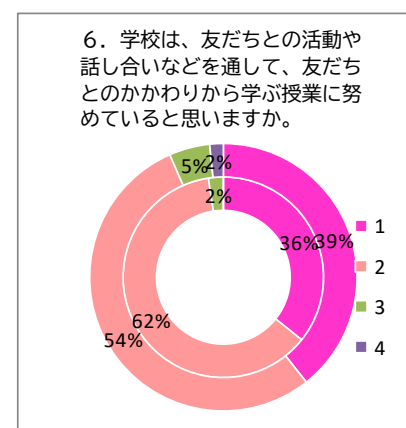
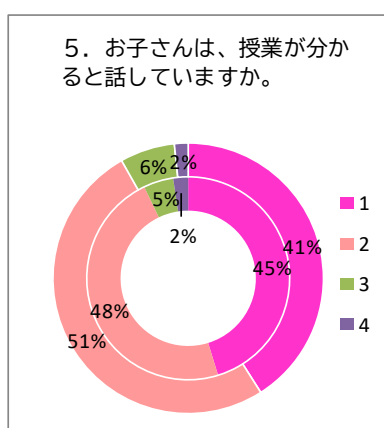
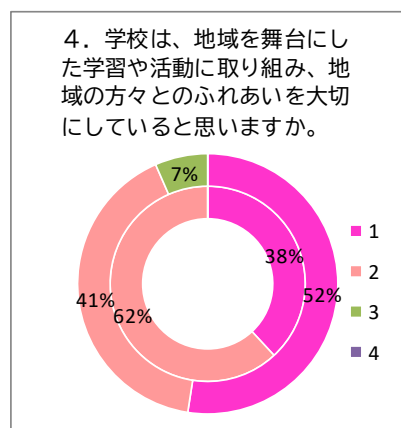
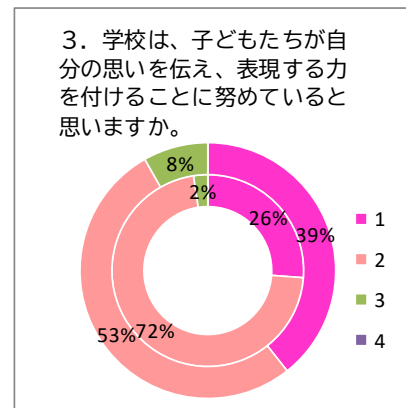
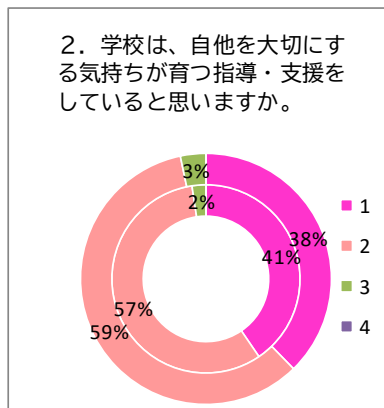
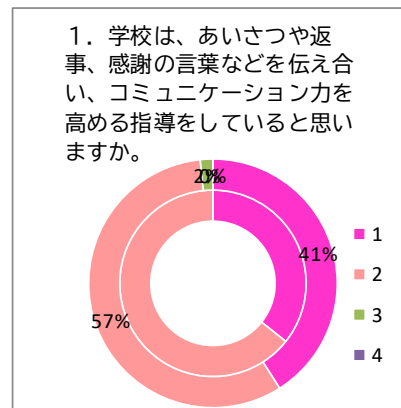
肯定的評価（A B評価）が上がったものもありますが、元々低かった「自分で考えたり、思ったりしたことを友だちや先生に話をしていますか」「地域での学習や活動を楽しみ、感じたことを伝えていますか」の2項目がさらに下がり、肯定的評価が80%を下回りました。また、「友だちを思いやり、優しい言葉をかけていますか」が90%を下回る結果となりました。「授業は分かりますか」「学校は楽しいですか」のA B評価が少しでも上がっていることはよかったと思いますが、「伝え合う授業」のあり方について、さらに考えていく必要があると思われます。

2 保護者評価より

【実施時期】 2 学期 | 2 月中旬～下旬

【実施人数】 全校 78 名中 61 名（約 78 %）

■ 1 そうだ ■ 2 まあそうだ ■ 3 あまりそうでない ■ 4 そうでない



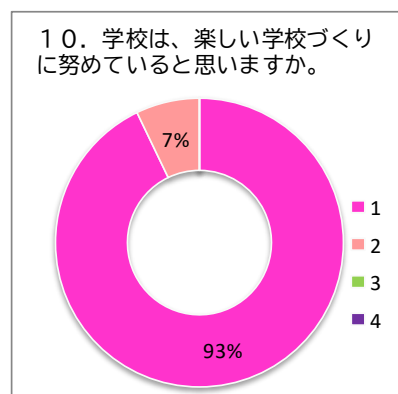
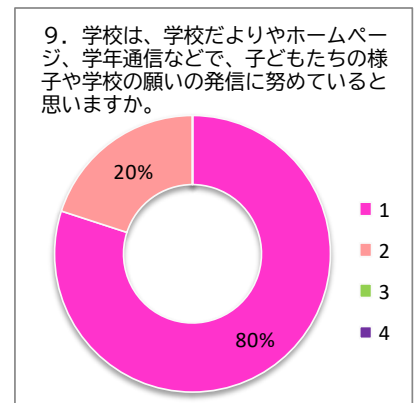
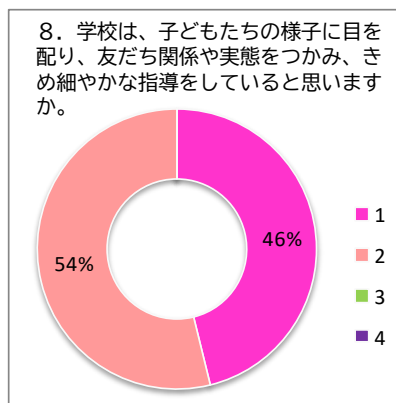
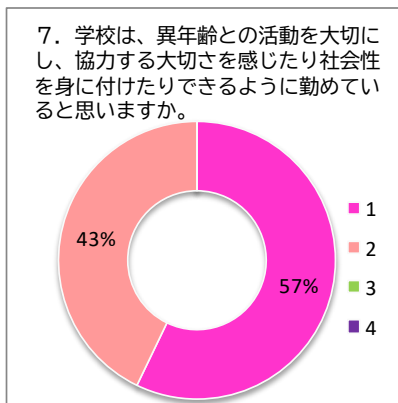
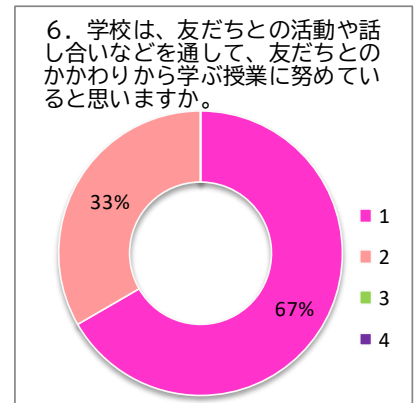
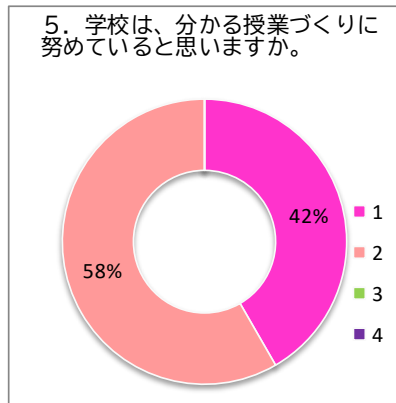
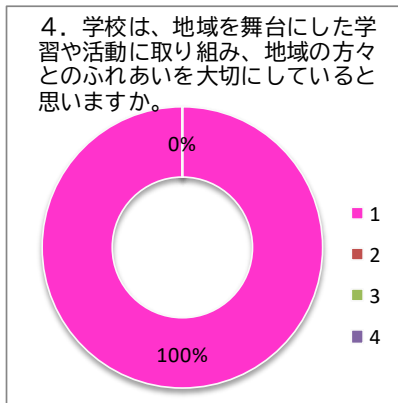
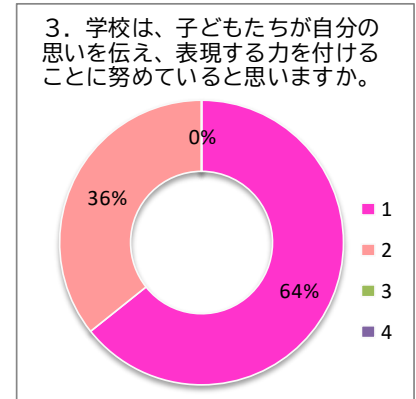
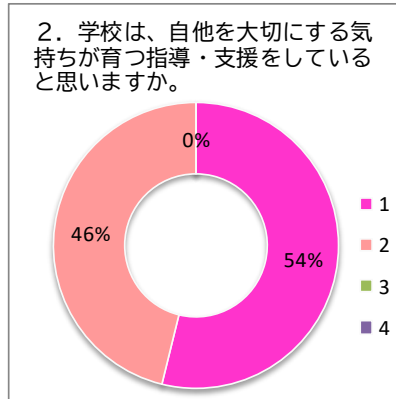
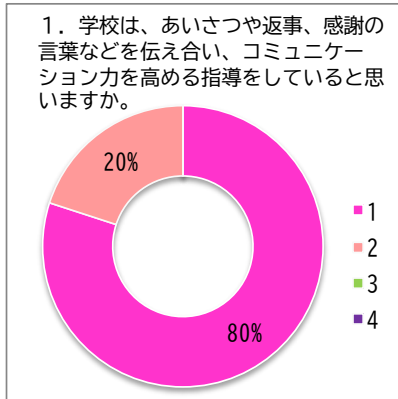
全項目とも肯定的評価が9割を超えており、学校の教育活動に対して、おおむね高評価をいただいている結果となりました。7 月の結果と比べ C D 評価が増えている項目が多い結果となっていますが、回答率が上がった（53 % → 78 %）ため、いろいろな意見があっても当然ではないかと考えております。保護者のみなさんが何をもって判断しているのか、と考えると、子どもの話を聞く、学校からのお便り（学年便りや学校だより）を読む、通知票やテストの結果を見る、という辺りになってくると思うので、子どもたちの様子をどのようにお伝えしていくか、考えていきたいと思ひます。

3 外部評価より

【実施時期】 2 学期 | 2 月中旬～下旬

【実施人数】 CS 運営委員 5 名および民生委員・児童委員の皆様 | 2 名（1 名重複）合計 | 6 名

■ 1 そうだ ■ 2 まあそうだ ■ 3 あまりそうでない ■ 4 そうでない



全項目とも肯定的評価が 10 割でした。学校の教育活動に対して高評価をいただいております、大変ありがたく思います。

昨年度と比べると、B 評価が増えているというところもありますが、昨年度は 150 周年記念の年で、地域の方に学校の取り組みを知っていただける機会が多かったから評価もしやすかったように感じます。今年度に関しては、判断材料が少なく、自信を持って A 評価にするということができにくかったのではないかと考察します。ホームページや学校だよりなどで様子をお伝えしているが、より分かっていたくために、さらに開かれた学校にしていくためにどうするか考えていきたいです。

4 アンケート結果より

(1) 児童アンケートより

▼多くの項目で、肯定的評価が80%を超えました。

- ・「自分から、気持ちの良いあいさつや返事をしていますか」「授業が分かる」「授業中、先生や友だちの話最後まで聞いていますか」「他の学年の友だちと力を合わせて掃除をしたり、仲良くしたりしている」「学校の先生たちは、話をよく聞いて、がんばっていることをほめたり、はげましたりしてくれる」の5項目が90%を超えました。昨年度末の課題であった、「あいさつ」の項目の自己評価が上がっているということは嬉しいことだと思います。
- ・昨年度、肯定的評価が8割を超えていた「自分の考えを話す」「地域での学習や活動を楽しみ、感じたことを伝える」の2項目の評価が8割を下回りました。昨年度のような記念式典がない中、どのように伝え、そして、それを教師だけでなく、お家の方や地域の方々に認めていただき、自信をつけていくかを考えていく必要があると感じます。
- ・上記、「話す」「伝える」の項目の他に、1学期より肯定的評価が下がっているのが、「友だちを思いやり、優しい言葉をかけている」「授業中、友だちや先生の話聞いてる」の2項目でした。人の話を聞くことも相手を思いやることに繋がると考えます。学校生活の中で、相手を思いやる気持ちを育んでいきたいと思います。

(2) 保護者アンケートより

▼すべての項目で、肯定的評価が90%を超えました。

- ・昨年度の課題であった、「あいさつ」については、1学期末より2学期末の方が、若干評価が下がっているものの、とても高い評価をいただき、大変ありがたく思います。ご家庭や地域でも声をかけていただき、子どもたちの気持ちのよいあいさつが広がってきていると感じています。
- ・すべての項目で肯定的評価が90%を超えましたが、1学期末より2学期末の方が、評価が下がっている項目が多いことが気になります。「表現」「伝える」「授業が分かる」「友とのかかわりから学ぶ授業」「きめ細やかな指導」「学校が楽しい」の6項目は、学校目標にも通じる、とても大切な項目なので、どのようにしていったらよいか、来年度に向けて、考えていかなければならないと考えています。学校の本分である「分かる授業づくり」、「楽しい学校づくり」に努めてまいりたいと思います。

(3) 外部アンケートより

▼すべての項目で、肯定的評価が100%となりました。

- ・その中でも、「地域を舞台にした学習や活動、地域の方々とのふれあい」については、全員A評価をつけていただきました。とてもありがたい結果だと思います。普段、学校にもよく足を運んでくださり様子を見ていただいていることや学校を地域の方の居場所に、そして、地域の方から学ぶということを考えてきたことを評価していただいたものと思います。来年度もさらに、地域に根ざした学校を目指していきたいと思います。

昨年度の150周年記念式典を経ての151年目、地域に開かれた学校を目指して学校の在り方を模索してまいりました。保護者の皆様、地域の方々に支えていただいていることを日々感じております。保護者の方も、地域の方も、学校の様子を直接見る機会は多くありません。来年度以降も、子どもたちの様子を丁寧に見て、分かる授業・楽しい学校を目指すとともに、保護者の方や地域の方々に、学校や子ども様子を知っていただくことを考えていきたいと思っています。



ご協力ありがとうございました。